

① 実態把握シート
教師等、授業スタイル

児童主体の授業になっていない。

目的、ねらいにそった話し合い活動が行われていない。

①も
②も
③も

学習: 目的意識 低い

学習意欲が低い

学習意欲にばらつきがある

学習意欲も低い

学び合う
学びたい
わかりたい
やりたい

意識も弱い

みんなが学び意識が弱い。

自発的な授業を促すことができていない(目的意識が低い)

学びの文脈に陥っていない。

一部の児童は授業の進んでいない

効果的かつ深い学習を行う必要がある

ペアやグループでの思考を深める活動になっている

児童の思考を深める活動になっていない

ざんげん
効果的かつ深いペア・グループ学習

ふり返り性行っている意識が弱い

ふりがた...
学びの自覚化できていない

学校の課題

③ 説明するに苦手

わかりやすく話すのが苦手

自信を持って話すのが苦手

わかりやすく話し合い説明するのが苦手

支援を要する子

支援を要する児童が多い

低学年に支援を要する児童が多い

④

説明理由が書けが弱い

書けが弱い
記述式 X

書くことに課題がある

記述式の課題の課題がある

書けが弱い

読む力

読むことに課題がある

読む力が弱い

効果的に読む力が弱い

課題をまとめると...
① 学習意欲・学習に対する目的意識が低い!
② 「読むこと」「書くこと」の力が弱い!
③ ふりがたを活動に授業をする必要がある!

研究主題 一人一人が光輝き. とともに学び合う子をめざして
～

研究教科 小学校:国語・算数 中学校:全教科

目指す子供の姿	目指す授業像
★ おもしろく学ぶ子	★ ぬめりをもって学ぶ授業
★ 学ぶ楽しさを味わえる子	★ みんなでつなぐ授業
★ 学んだことを活かす子	★ ふり返りを大切にした授業

研究の重点(柱) 2つ～3つ

A 授業改善

B 学級づくり

C

A: 授業改善の視点(3つ程度)

- ① 課題提示の工夫
- ② 効果的なペア・グループ学習
- ③ 達成感をもたせるふりかえりの工夫

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

1番

- ・ 児童の生活にねざした課題の工夫
- ・ 児童が考えたくなる課題の工夫
- ・ 本時のねらいを達成できる課題設定

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

3番

- ・ ふりかえり名人の活用(作成・活用) 低・中・高バージョン
- ・ ねらいの明確化とゴールの姿を意識して
- ・ 自己の変容を自覚化させた手立ての工夫

③ 計画シート

E 班

月	内容		
4月	研究方針の提案	目指す授業像の共通理解	学力向上プランの策定 学力調査問題の出題傾向の把握 学力調査の自校採点
5月	要請訪問 提案授業 学びのスタイル (1階にある機材) マイじまん 1-ト展① Q-U 分析. 我々		
6月	模擬授業	研究授業	授業交流 学力調査の結果分析
7月	↓ ↓		過去問にチャレンジ
8月	講師招聘	検証	学力調査の結果分析 学力向上プランの見直し
9月	模擬授業	研究授業	
10月		計画訪問	マイじまん 1-ト展②
11月	要請訪問	検証	Q-U 分析. 我々
12月	↓ ↓ ↓		
1月	研究のまとめ		
2月	次年度の計画		マイじまん 1-ト展③
3月	↓		